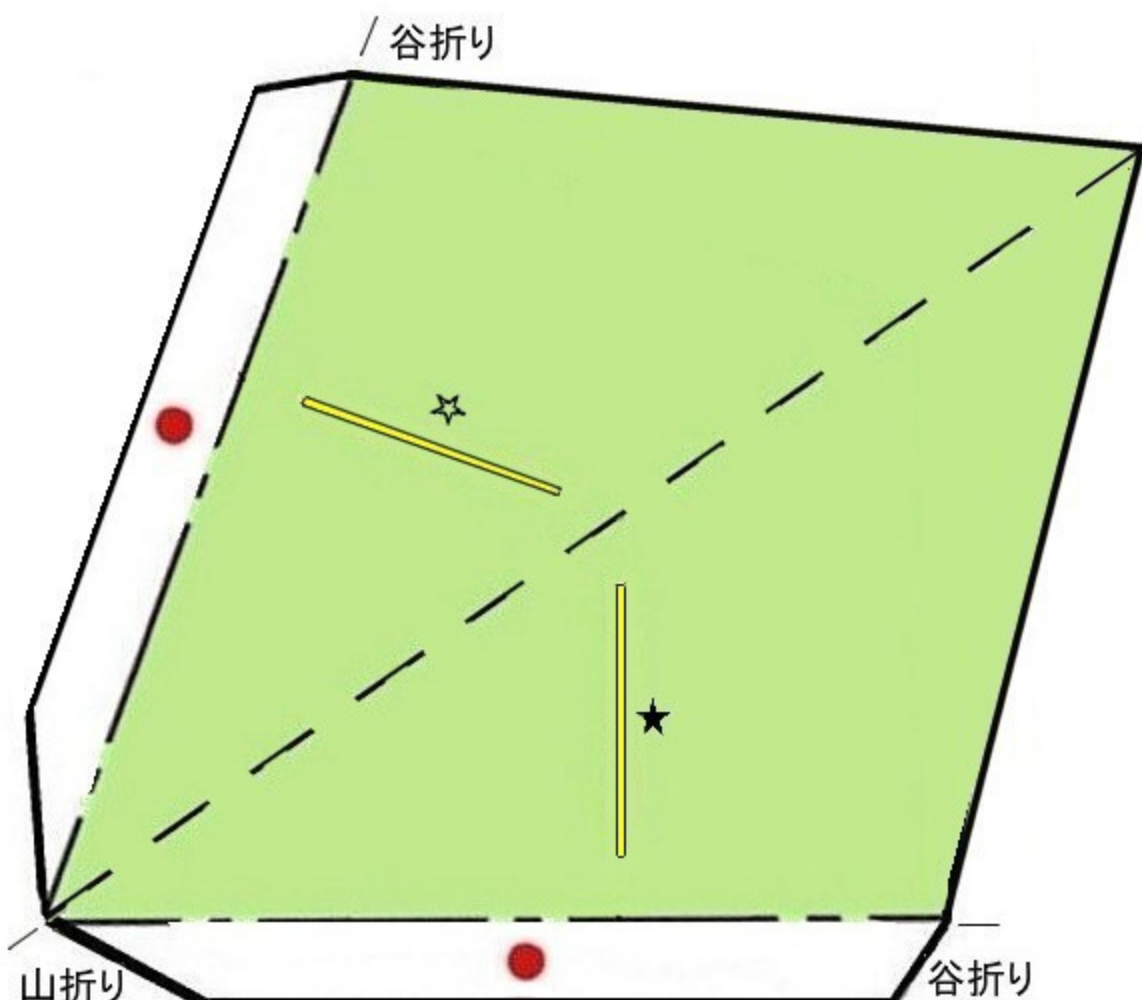


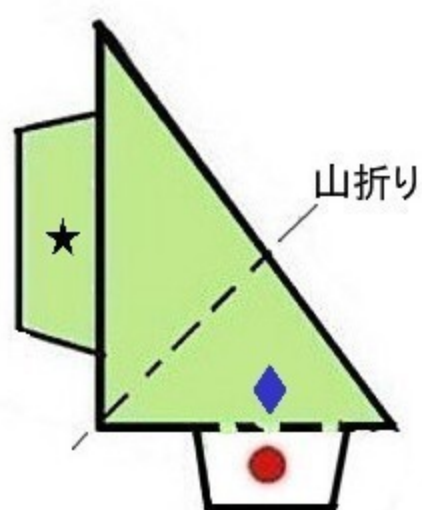
# 日時計



② ノーモン ※ 影を作る棒などのもの

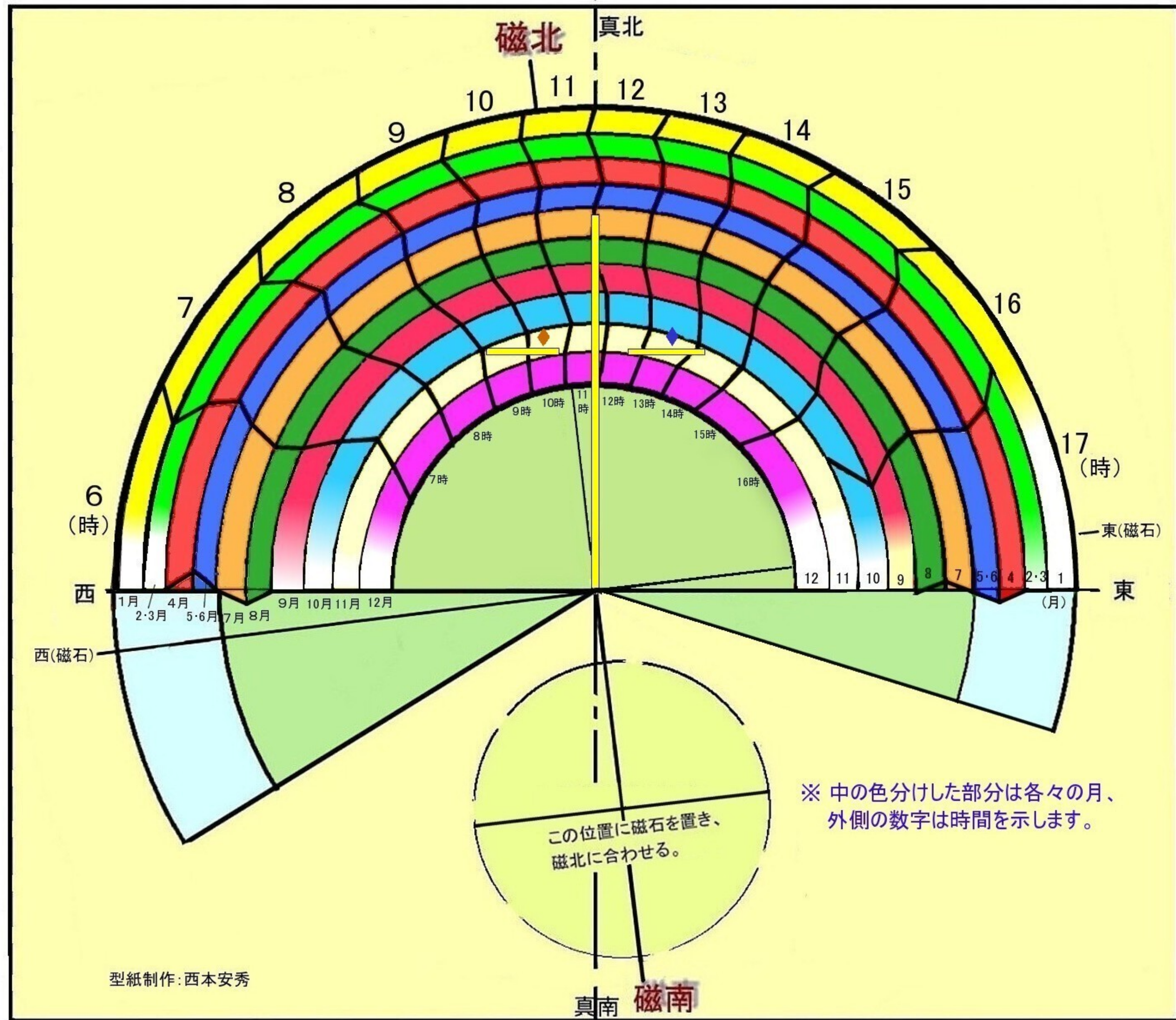


③ 補強材(左)



③ 補強材(右)

- 凡例
- 切りこみ
  - 山折り
  - 谷折り
  - のりづけ

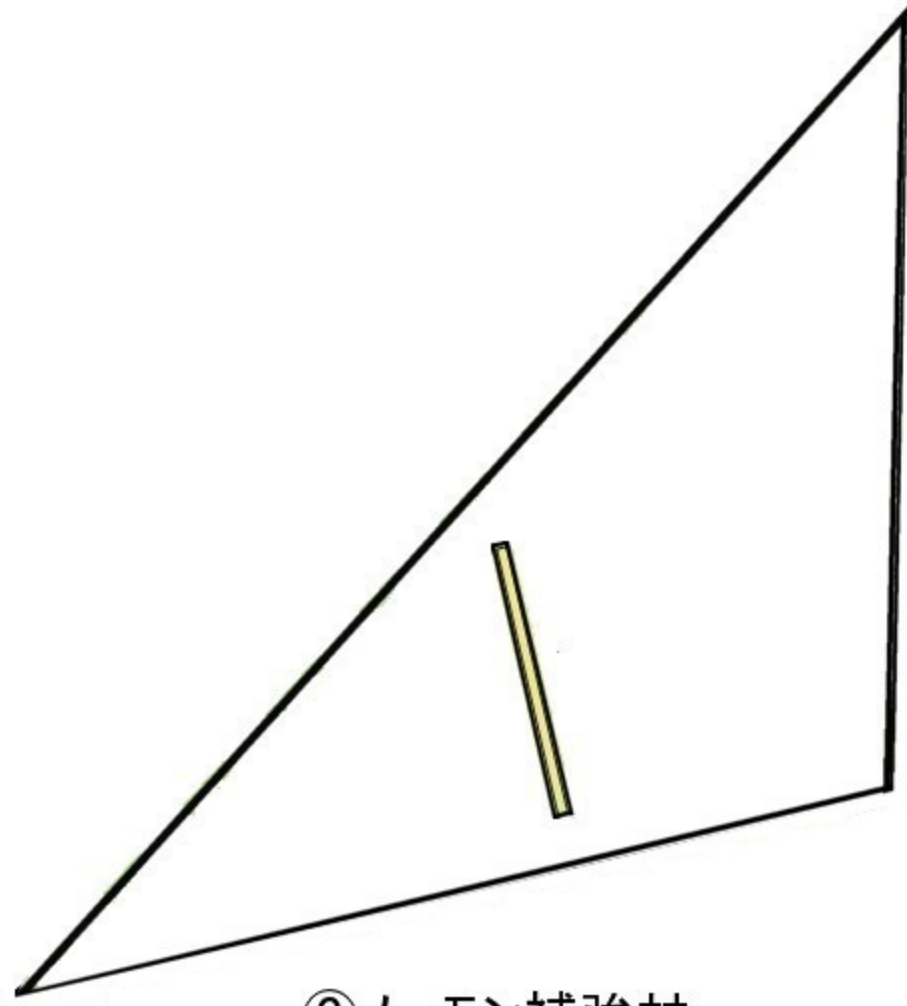


※ 中の色分けした部分は各々の月、外側の数字は時間を示します。

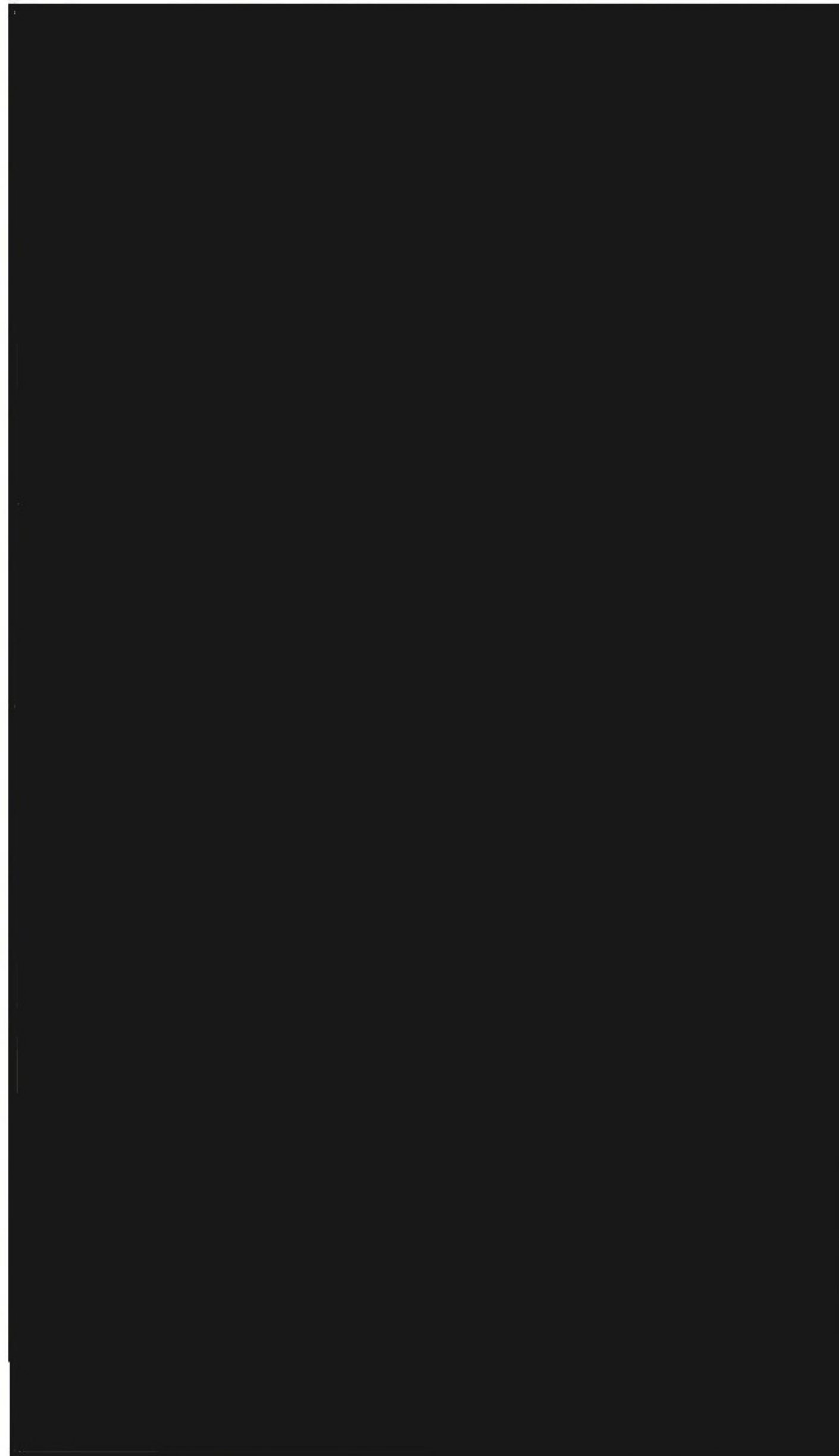
型紙制作:西本安秀

① 本体

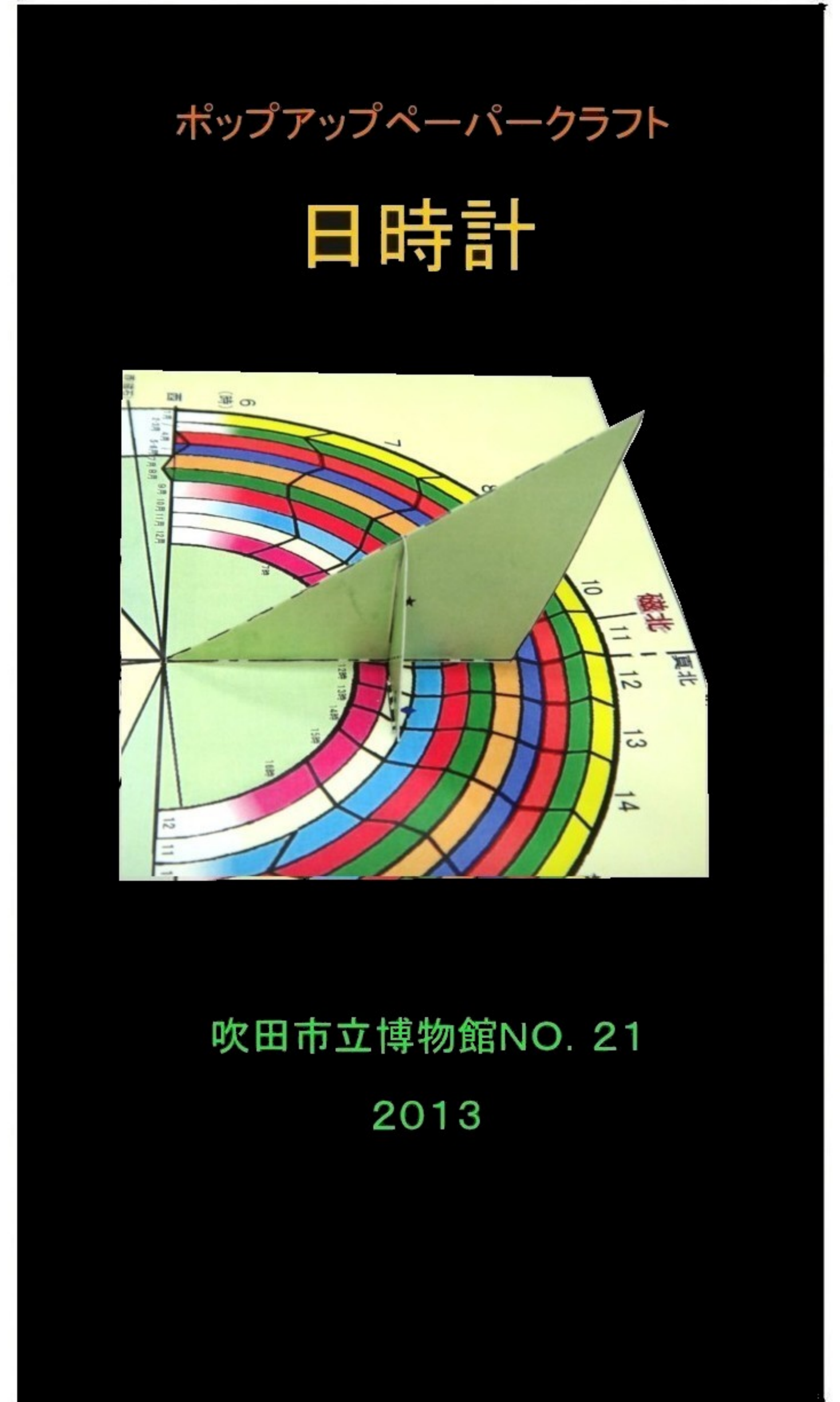
谷折り



⑥ノーモン補強材

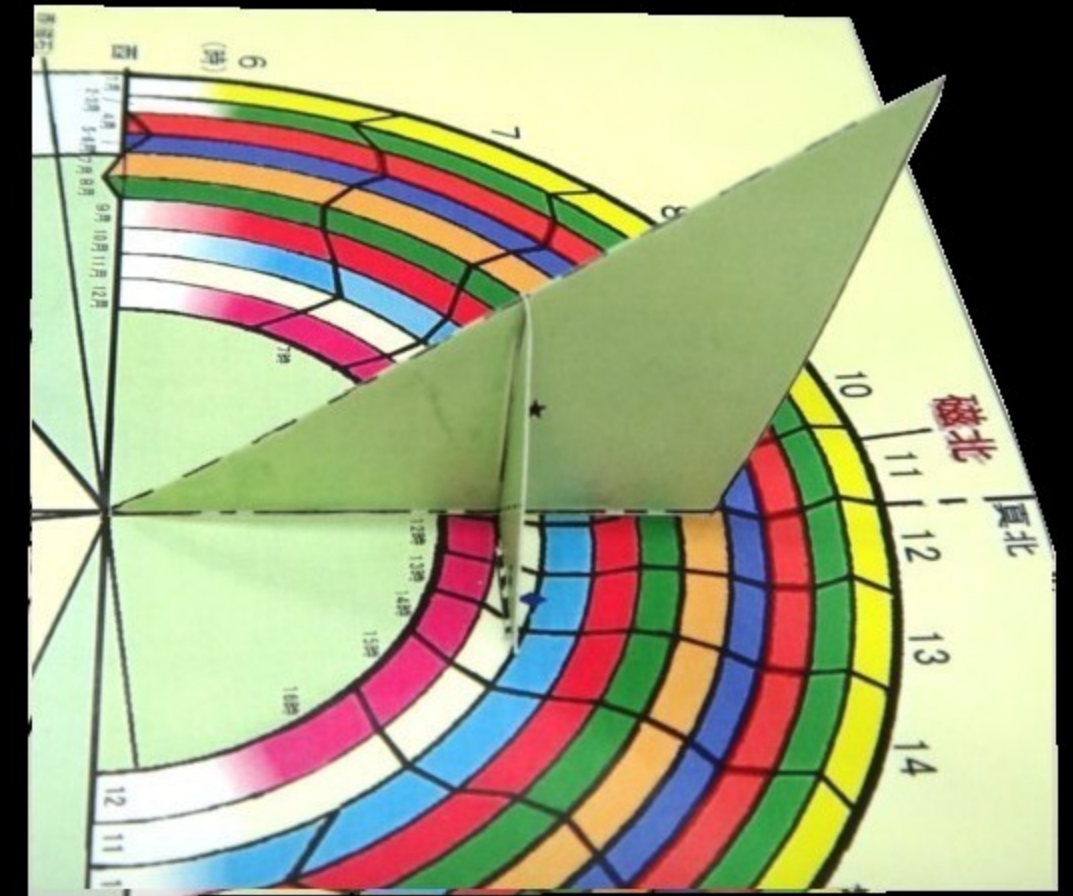


④本体裏2



ポップアップペーパークラフト

# 日時計



吹田市立博物館NO. 21

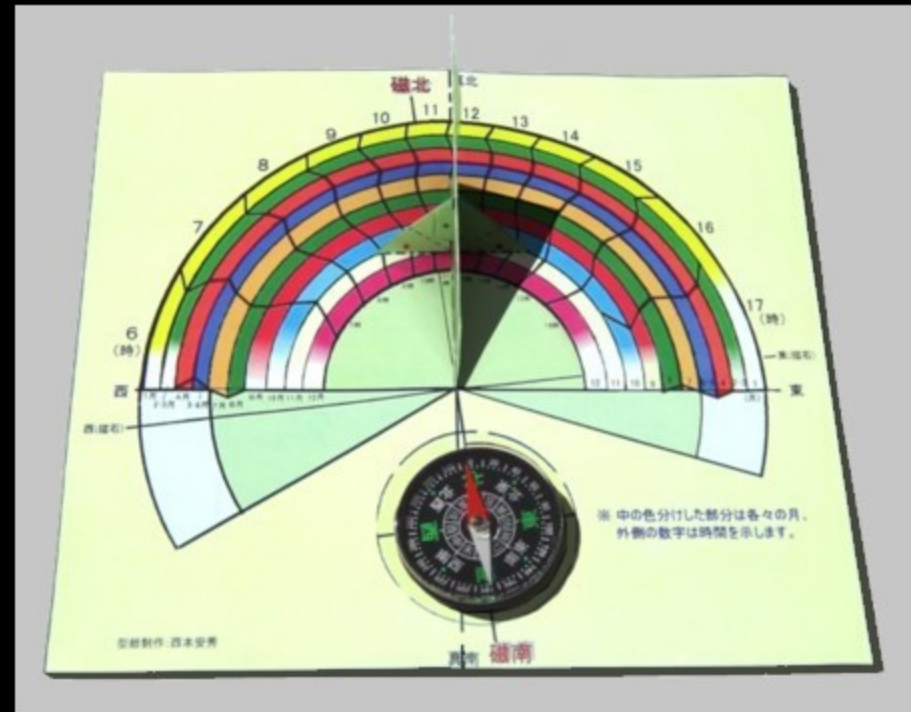
2013

④本体裏1

### 日時計の使い方

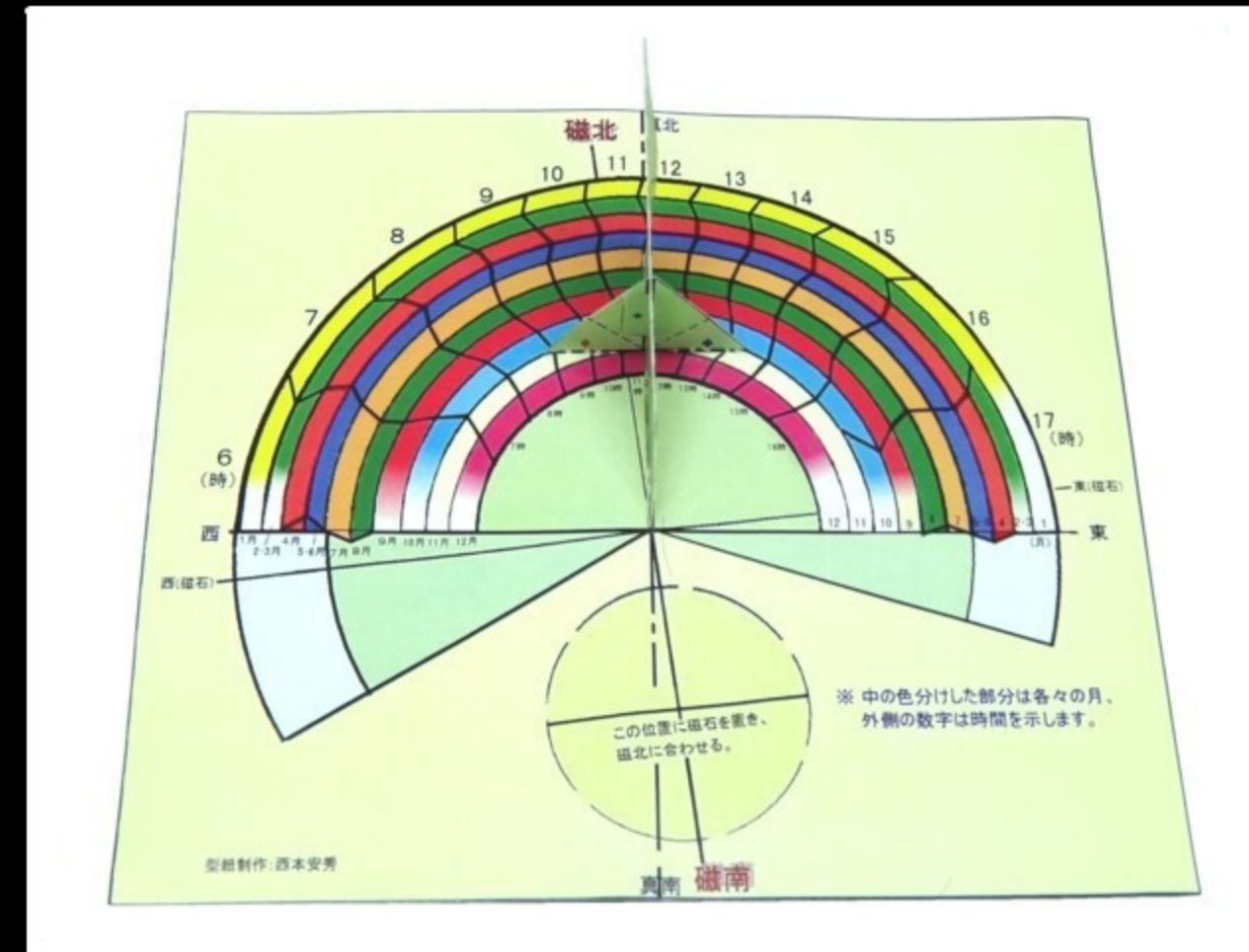
- ①本体をしっかり広げて水平な面に置き、ノーマンがまっすぐに立っているか確認する。
- ②方位磁石を所定の位置に置き、本体を回転させて磁北に合わせる。
- ③影のできた部分で時間を読む。

\* 本品は大阪周辺で使用できます。



<日時計使用例>

## ポップアップペーパークラフト 日時計



<完成見本>

吹田市立博物館NO. 21

2013

# 『ポップアップペーパークラフト日時計』の組み立て方

吹田市立博物館 NO.21 2013

\* 各部品に切りこみを入れてから切りぬく。

